

河村市長表敬訪問

全日本レディース優勝報告と『三鷹市のソフトテニスの現状と今後』を伝えるため
小林聖子さん、中村顧問、鈴木会長の三名が河村市長を表敬訪問しました。（10月21日）



令和7年10月21日

三鷹市ソフトテニス連盟会長 鈴木賢志

三鷹市長河村孝様

本日は、三鷹市在住で三鷹市ソフトテニス連盟会員の小林聖子さんが、先日の【第47回全日本レディースソフトテニス決勝大会】での優勝報告と表敬訪問をさせていただき、ありがとうございます。

同じ三鷹市民が＜日本一＞となったことを市長と共に喜べることを、大変誇りに思います。

また、昨年11月には【第70回三鷹市・武蔵野市親睦ソフトテニス大会】会場の三鷹市大沢総合グラウンドテニスコートへ直接出向いて開催の祝辞をいただいたことなど、当市連盟の活動とソフトテニス競技に深い理解と協力を賜り、ありがとうございます。

今回の訪問にあたり、市内ソフトテニスの現況と今後へ向けての所感をいくつかメモとして紹介させていただきます。

《現況》

- ・市連盟会員約280名
 - ・市内中学校ソフトテニス部 三鷹市立第一中学校・同第二中学校・法政大学中学校：男女計約150名
 - ・市内公設のテニスコート：大沢6面、大沢野川4面、新川4面、スバル体育館メインアリーナおよびサブアリーナで3面、一中3面、二中2面、四中2面、六中1面、七中2面、井口コミセン1面（____は、ソフトテニスに適するサーフェス・広さのコート）は、大沢・大沢野川・スバル体育館以外全てクレーコート
- 《今後へ向けて》
- ・市連盟会員数は毎年300名前後ですが、高齢化・転出による減少傾向が有り、市連盟として増員の努力を継続していきます。
 - ・テニスコートが有る市立中学校には、ソフトテニス部の創設・復活を市や市の教育委員会にお願いしたい。
 - ・テニスコートは硬式・ソフトテニスで共通・共用出来ますが、市内公設コートは周辺区市町と比較すると人口当たり面数は少ないと思われます。増設をお願いしたい。
 - ・市内公設のクレーコートの維持管理は、新川は大変良いですが、市立中学校は“ひどいモノ”で「凹凸が激しく、特にラインテープのところは足が掛かって転んで怪我をする。」「雨天時に水はけが悪くて泥が溜り、雨天後すぐに使えない。」など、安全面と利用に支障が有るとのクレームが、硬式・ソフトテニス利用の両市民から多いです。凹凸や水はけの改修を早急をお願いしたい。
 - ・市内公設コートは、上記維持管理が大変なクレーコートから、大沢のような＜砂入り人工芝コート＞への改修をお願いしたい（大沢野川・スバル体育館を除く）。周辺区市町、特に武蔵野市・調布市・世田谷区は＜砂入り人工芝コート＞が多いです。

以上